



# 明治初期の文化政策とアイヌ

明治 5 年、太政官がウィーンの万国博覧会に参加するに当たり、アイヌ資料を収集することになります。その折に動物園（現在の  
上野動物園前身）に畜養人（飼育係）をして働いていたアイヌ（石狩）が雇用されました。彼のアイヌ名はシャンケと言いますが、日本政府が東京で公式に採用した唯一のアイヌで、日本名「志村弥十郎」と命名されました。（右写真参照）1 回目、志村弥十郎の人なりとその着用している衣服等について、2 回目、2020 年に北海道白老にできるアイヌ関連の国立公園/博物館について、および明治初年にウィーン万国博に参加するために北海道で何が行われたかについてお話しいたします。



第 1 回 石狩アイヌ「志村弥十郎」のこと

開講日時 1 月 27 日（水） 10:30~12:00

第 2 回 白老の国立公園/博物館およびウィーン万博とアイヌ資料収集

開講日時 2 月 3 日（水） 10:30~12:00

講師 佐々木 利和 氏（北海道大学アイヌ先住民研究センター客員教授）

- ◆ 会場／花川北コミュニティセンター2 階 ◆定員 / 30 人（申込多数時抽選）
  - ◆ 申込締切 / 平成 28 年 1 月 13 日（水）
  - ◆ 受講料 / カレッジ生 800 円・一般 1,000 円（各回ごとの受講も可能）
  - ◆ 申込み・問合せ / いしかり市民カレッジ事務局（石狩市公民館内）  
TEL/FAX : 0133 - 74 - 2249 メール : kuminkan@city.ishikari.hokkaido.jp
- ※この講座は道民カレッジ連携講座です。